

海と、



新温泉町の海は、昔から漁業や廻船業を通して栄え、山陰屈指の港として交流が活発に行われてきました。さらに近年では魚介類などの豊富な自然資源と海水浴やマリンスポーツなどの観光業が人々の生活に多くの恵みと潤いを与えてくれています。人と自然との共生が求められている現在、新温泉町では、この豊かな恵みと潤いをもたらす海に感謝し、後世に引き継いでいくために、環境保全や資源確保などのさまざまな取り組みを行っています。

Living with The Sea

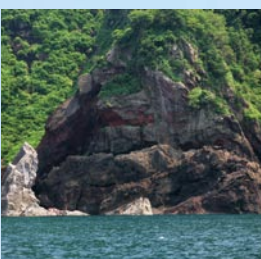
Shin-onsen-cho faces the Sea of Japan and has prospered as a fishing port and, in earlier times, was also used by cargo vessels. In recent years, the sea has provided natural resources and supported a flourishing tourist industry with swimming and other marine activities. We appreciate the value of the sea to our community and recognize our responsibility for environmental conservation for the benefit of future generations.



海のもつ造形美と癒しの力。

西は岸田川河口から東は町境の伊笹岬までの区間にある「名勝・天然記念物但馬御火浦」を擁す新温泉町の海岸線は、昭和38年7月に山陰海岸国立公園に指定されています。山陰海岸の大部分は山地が直接海に接しているため、鋸岬にある旭洞門や、釣鐘洞門、三尾大島などのような、荒波により浸食されてきた奇岩や洞門といったさまざまな自然の造形美が随所に見られます。

また、近年は海そのものが持つ癒しの力に注目が集まっています。海の青色は常に多くの人に安らぎを与える色で、感情的な興奮を抑え緊張や圧迫感を和らげる沈静効果があるといわれています。さらに、潮風に含まれるマイナスイオンは、私たちの副交感神経に働き、心や体を落ち着かせてくれます。



獅子の口



孔雀岩



ジオパークの登録推進と松林の環境保護活動。

ユネスコの地球科学部門が提唱し、世界各国で取り組まれている未来型活動に「ジオツーリズム」があります。これは地質学、地形学的に価値が高く、世界遺産に含まれていない特定区域をジオパークに指定し、訪れる人々の地球への理解を推進するものです。すでにヨーロッパではジオパークを観光業と結び付ける手法が積極的に展開されるなど、画期的な地域振興策の一つとして注目を浴びています。但馬内でも平成17年に「山陰海岸を世界の公園にする会」が結成されました。以来、賛同者の輪が少しずつ広がっており、量・質的に優れた新温泉町の海岸線を含めた山陰海岸の保護やジオパーク登録に向けての活動が進められています。



稚苗の植樹活動



松林での県立浜坂高等学校生徒による吹奏楽コンサート

また、浜坂県民サンビーチの南側に広がる約4ヘクタールの「松の庭（クロマツ林）」の美化・保護活動も行っています。「但馬浜坂浜の松を大切にする会」による美化活動が、昭和56年の発足以来、地道に続けられています。近年では県立浜坂高等学校による絵画・書道展や吹奏楽コンサートが催行されるなど、住民の憩いと安らぎの場として親しまれています。平成15年からは、保安林改良事業として稚苗を植樹し、行政、住民が一体となったの保護活動を展開しています。



松の庭